

平成21年度前期授業評価アンケート結果報告

1. 趣旨

極域科学専攻が開講している授業科目の優れた点、問題点、改善すべき事項等について、学生の意見や意識を把握し、カリキュラムや授業方法等の教育課程の改善に資するため、授業評価アンケートを実施する。

2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布（pdfで配布）し、電子データで回収。

3. 回答率等

- 1) 後期開講科目数 14 科目（ただし極域科学特別研究、極域科学特別演習は除く）
- 2) 履修者数 5名
- 3) 期待回答数 22名
- 4) 回答数 19件
- 5) 回答率 86%（回答数（19）／期待回答数（22））×100

4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通で次のとおり

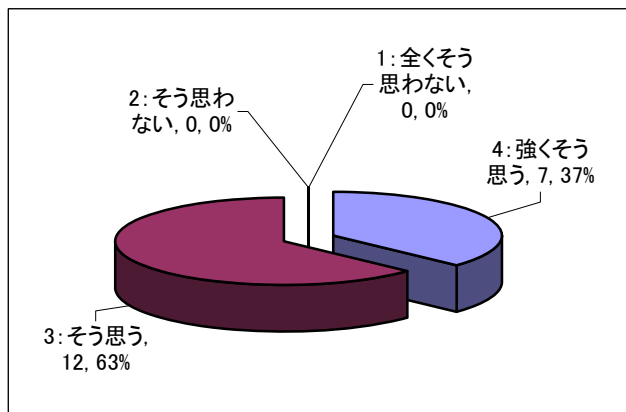
4：強く思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない

なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成し、専攻長が校閲した。

問1. 授業内容はシラバスと対応していましたか。

4：7件 3：12件 2：0件 1：0件 【平均3.37】

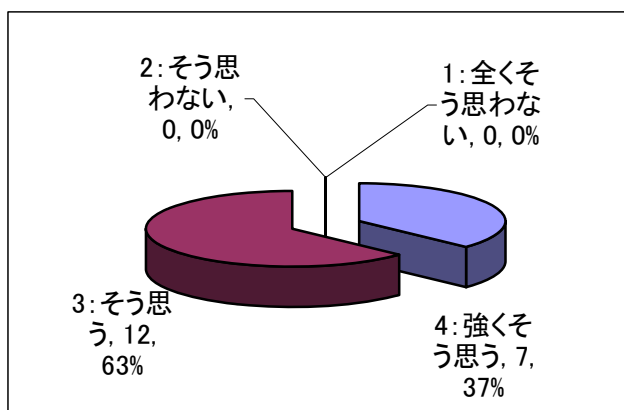


(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であった。授業内容はシラバスとほとんど対応しており、シラバスの内容も周知できていると考えられる。

問2. 授業の難易度は適切でしたか。

4 : 7件 3 : 12件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.37】

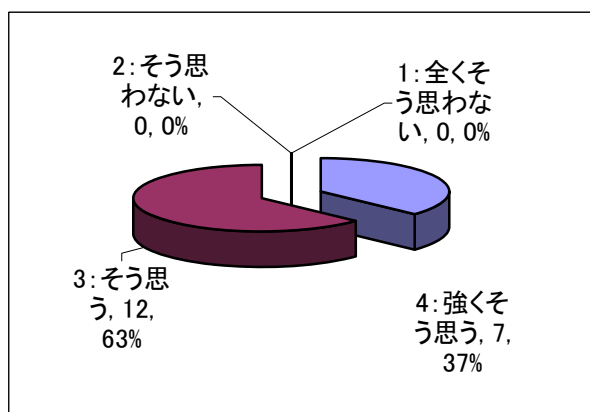


(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であった。授業の難易度は適切だったと考えられる。

問3. 授業により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。

4 : 7件 3 : 12件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.37】

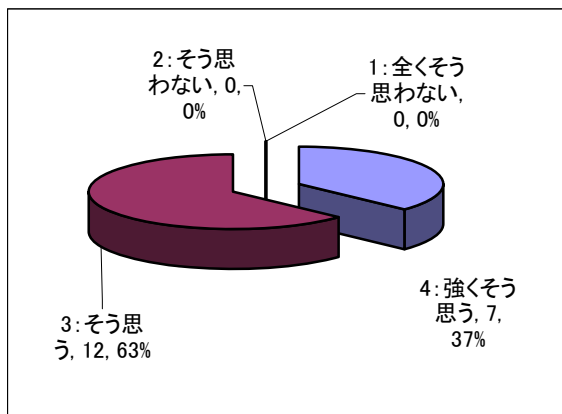


(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であった。十分に知的な刺激を受ける内容であったと考えられる。

問4. 視聴覚・情報機器等を使用する授業において、その使い方は効果的でしたか。

4 : 7件 3 : 12件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.37】

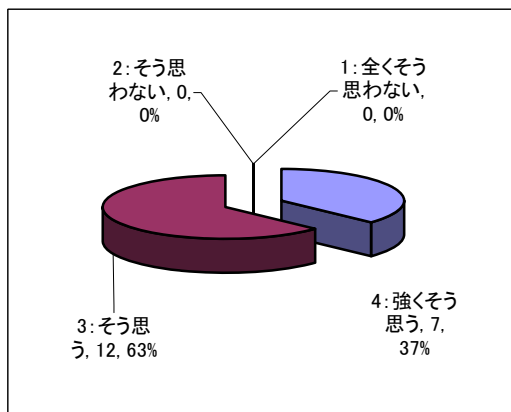


(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であり、効果的だったと考えられる。

問5. テキストやプリントなどの教材は授業内容を理解するのに役立ちましたか。

4 : 7件 3 : 12件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.37】

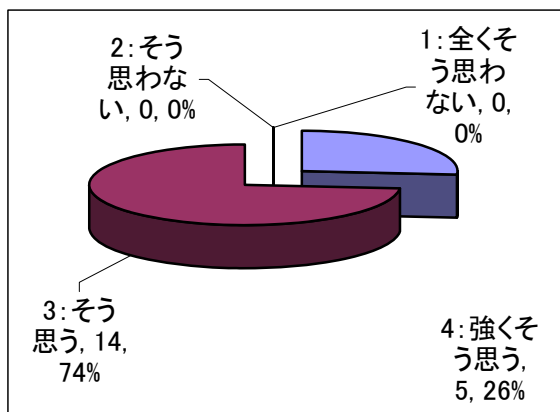


(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であり、効果的だったと受け取られている。

問6. ノートやメモは取りやすかったですか。

4 : 5件 3 : 14件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.26】

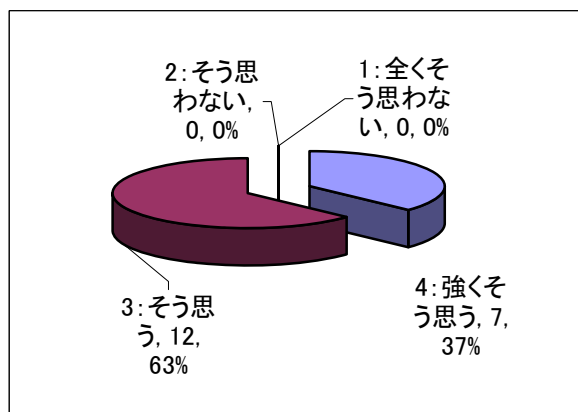


(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であり、ノートやメモは取りやすかったと考えられる。また、今回のアンケート中、最低の平均値(3.26)になっているが、H20年度後期の平均が3.80と極端に高く、H20年度前期の3.28やH19年度後期の3.20と比べると例年通りである。

問7. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。

4 : 7件 3 : 12件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.37】

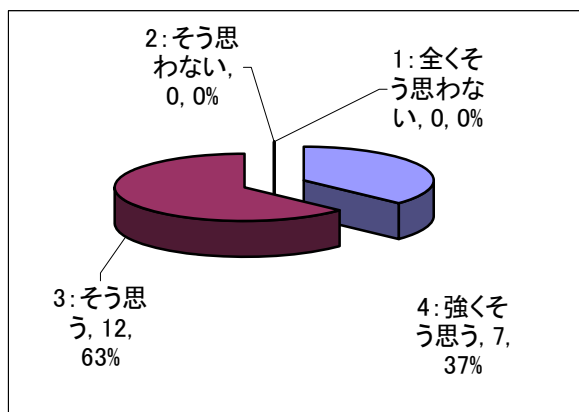


(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であり、十分聞き取りやすかったと思われる。

問8. 重要な箇所が強調されるなど、授業の説明はわかりやすかったですか。

4 : 7件 3 : 12件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.37】

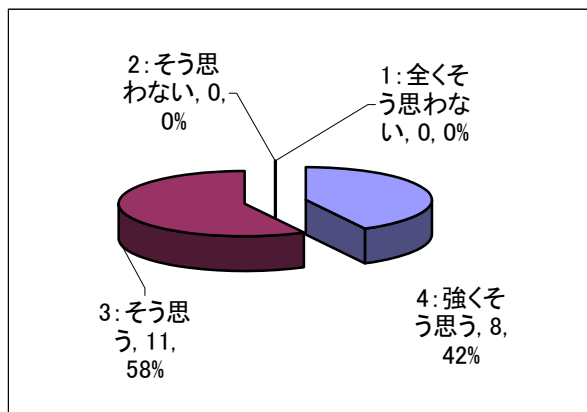


(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であり、説明は十分にわかりやすかったと考えられる。

問9. 教員は学生に授業参加（発言、質問）を促し、質問や討論に十分に対応していましたか。

4 : 8件 3 : 11件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.42】

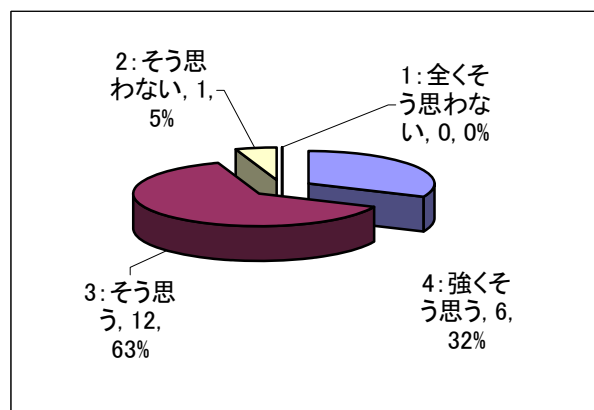


(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であり、十分に対応していたと考えられる。

問10. 授業の進度は適切でしたか。

4 : 6件 3 : 12件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.26】

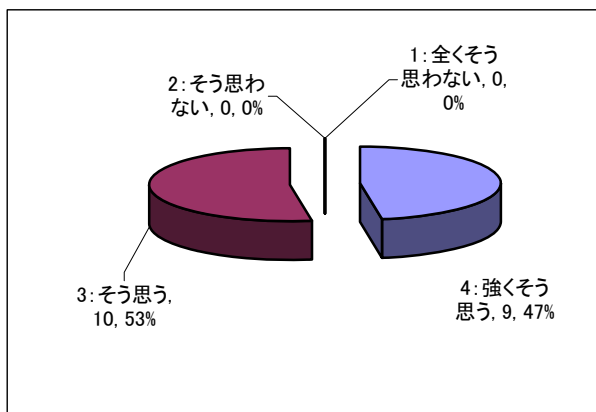


(コメント)

4と3をあわせて18件、95%であり、進度は、ほぼ適切だったと考えられるが、2の回答が1件あることと、平均点が例年と比べて低いことから、授業の進度について考慮する必要があると言える。

問11. 授業に対する教員の熱意を感じましたか。

4 : 9件 3 : 10件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.47】

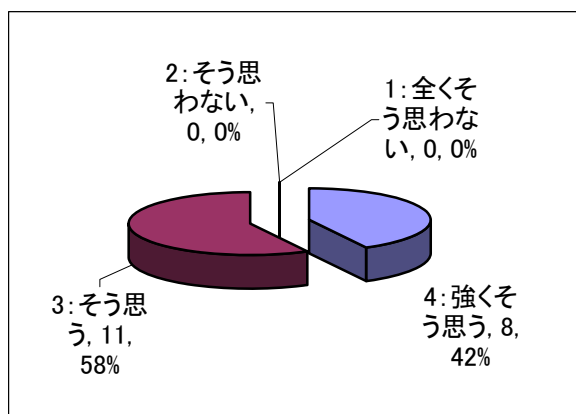


(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であり、十分に熱意が感じられたと受け取られている。

問12. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

4 : 8件 3 : 11件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.42】



(コメント)

4と3をあわせて19件、100%であり、十分に授業に満足していると思われる。

問13. この授業で良かった点、また改善すべき点、その他特記事項があれば、記入してください。

回答数 7件

・それぞれの分野での先端トピックを効率よく知ることが出来た。
また標本室や実験室を観たり、簡単な実験や観察を行うこともあり、とても満足できた。広い分野についてこのように学べるのは、総研大ならではの点だと思う。

・スライドを効果的に使用していて、内容が良く理解できた。
また原理の説明にも重点が置かれ、学生の理解度を確認しながら進むので、着実に内容を把握することができた。
スライドを抜粋した配布資料があれば、尚良かったと思う。

・内容が極域に絞られており、短期間で効率良く新しい知識を得ることができた。
各回ごとに配布される資料は、授業中にメモを書き加えたり後々見直すことが出来るので、復習にとっても役に立った。
また、実際の計測機器や研究結果が授業に取り入れられており、イメージしやすく、より良く理解することができた。

・授業で学んだ内容を、実験室での観察や海洋実習を通して総括し、実際自ら体験することでより良く理解出来、興味も深まった。

・各回ごとに資料が配布され、後々の復習や理解に役立った。
学生自身が演習形式で発表する機会があり、プレゼンテーションの練習となった。また他の学生の発表を聴くことで、自らの改善点や課題を知ることができた。

・野外での実習があり、内容の理解に役立った。
実際の発表や論文を授業に取り入れ、資料が豊富であった点が良かった。

・授業毎に他の研究所へ行かなければならない点が不便であった。余裕を持って行くと（10～30分前）教室が開いていない場合が多々あり、他の研究所では非常に困った。プレゼンテーション専門の講師が担当した授業があり、とても良かったので、今後も継続してほしいと思った。

4. 平成21年度前期授業評価アンケートのまとめ

(1) 授業内容について（問1～問3）

いずれの項目においても、4及び3の肯定的な評価が100%となり、極めて良い結果だと考えられる。

(2) 授業方法について（問4～問11）

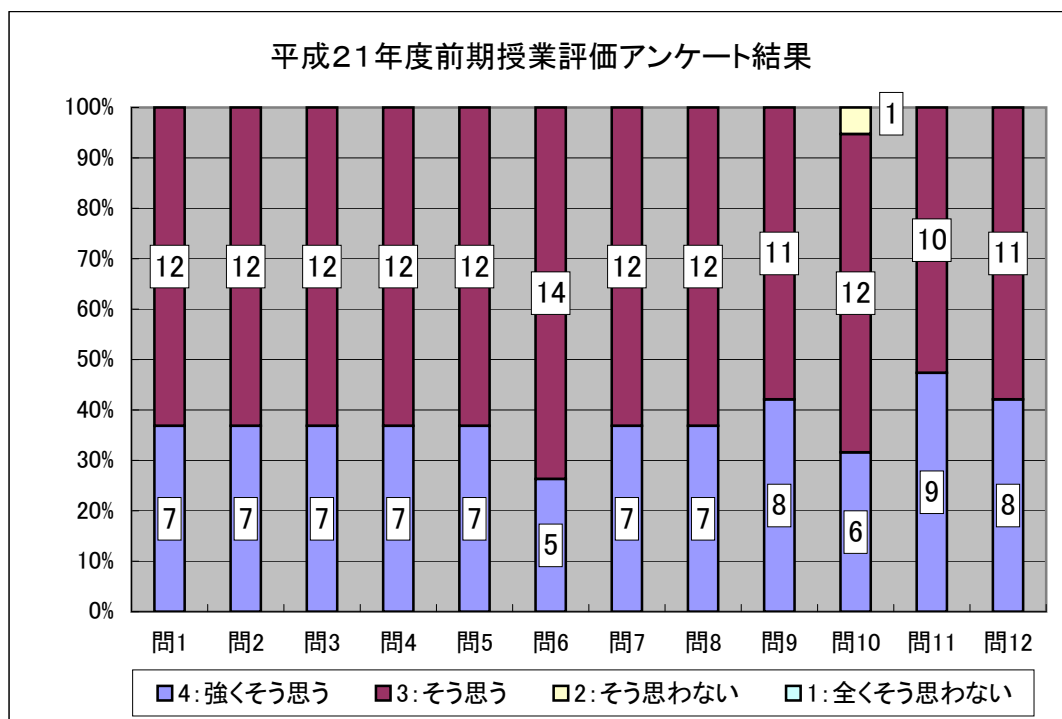
問10を除き、いずれの項目においても4及び3の肯定的な評価が100%となった。

問10については、H21年度前期の平均点（3.26）がH19年度後期（3.35）、H20年度前期（3.56）、H20年度後期（3.47）と比べて低いことから、授業の進度について考慮する必要があると言える。

(3) 総合評価（問12～問13）

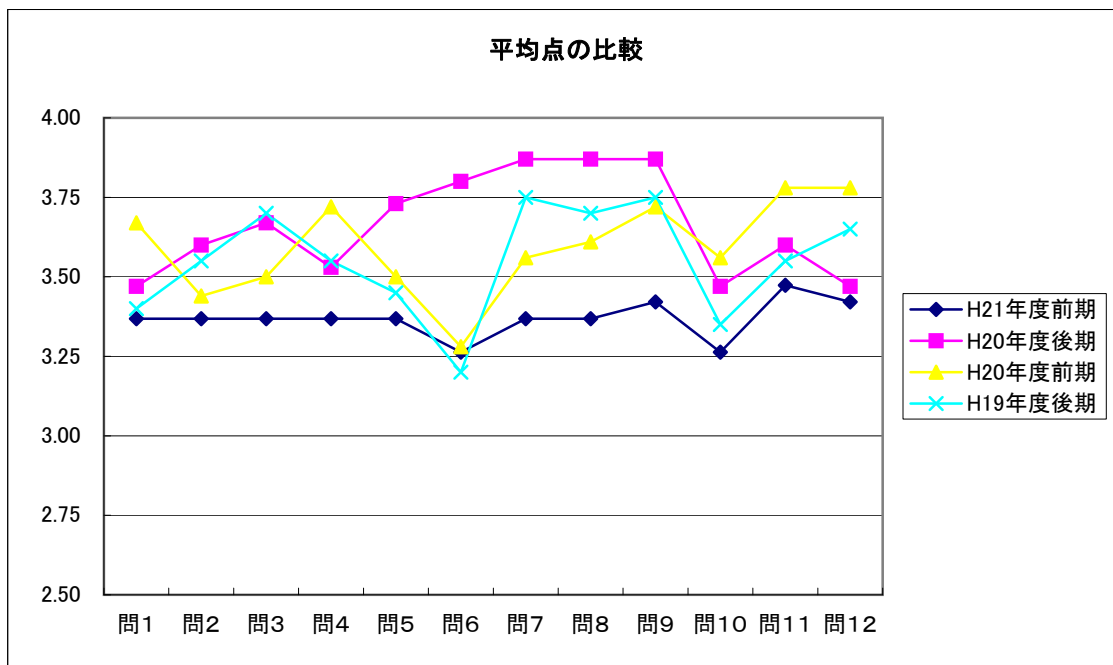
問12の4及び3の肯定的な評価をあわせると100%で、十分に満足できる授業を提供できたと考えられる。

問13については、他研究所で開講する科目について不便との意見があったが、その他は肯定的かつ好意的な意見のみである。



(4) 平成20年度前期授業評価との比較及びまとめ

昨年度と比較して、すべての質問に対する一番肯定的な意見（4. 強く思う）の回答の割合が大幅に減少しているため、平均点が下がっている。今後のさらなる配慮が必要といえる。しかし、否定的な意見が問10の1件のみであることは、今までの取り組みの成果が現れてきているといえる。



5. 今後の対応

平成21年度後期においても同様のアンケートを行い、年度ごとの比較を行っていく予定。今回の調査結果については、専攻委員会及び学生へ回付し、極域科学専攻HPに掲載する。